



生命環境学部・大学院医工農学総合教育部
生命環境学専攻この一年（令和4年4月～令和5年3月）

令和4年4月

■4月6日（水）山梨大学入学式挙行

YCC 県民文化ホール（甲府市）において、令和4年度山梨大学入学式を挙行し、学部882名、大学院修士課程251名、博士課程45名、教職大学院の課程39名、専攻科10名の計1,227名が入学しました。3年ぶりに開催された入学式は、参加者を入学生と大学関係者のみに限定し、対面とオンライン配信のハイブリッド式で実施されました。

島田眞路学長は、「大学での学びを通じて、専門知識・技能を獲得するにとどまらず、自ら学び、自ら考える力を身につけ、広い知識と教養を深め、人間としての豊かさを培っていただきたい」と式辞を述べました。

また、来賓を代表し長崎幸太郎山梨県知事より祝辞を頂戴しました。



■4月7日（木）令和3年度 生命環境学部学生表彰

生命環境学部では、優秀な成績を収めた学生及びその行為が社会的に高く評価される等、本学部学生の模範となりうると認められた学生に対し、学生表彰を行っています。

令和3年度は、卒業生9名、在校生各学科の成績優秀者24名、及び活動優秀者4名、計37名の学生が対象となり、表彰式が行われました。

■4月14日（木）新入生オリエンテーションでみそ作り

地域食物科学科では、新入生オリエンテーションで昨年同様、甲州味噌作りをしました。講師に五味醤油の五味洋子さんをお招きし、手順を教えていただきながら、4班に分かれて作業をしました。この日仕込んだ味噌は、8カ月後に出来上がる予定です。



■4月18日（月）環境科学科で新入生交流会

例年、環境科学科では合宿形式の新入生交流会を開いていますが、新型コロナウイルスの感染対策のため、今年は校舎屋上で写真撮影後、体育館にてゲーム等を楽しみました。



令和4年5月

■5月2日（月）イギリス国際学術雑誌の表紙に採用

生命工学科、大山拓次教授らの研究グループの学術論文がイギリス国際学術雑誌に掲載され、論文のグラフィカルアブストラクト（論文の図解抄録）がその表紙に採用されました。



■5月12日（木）「ワイン科学（ブドウ栽培・育種部分野）」実施

地域食物科学科のワイン特別プログラムの1年生がワイン科学研究センターの前庭で、ブドウ栽培に励んでいます。本講義は、ブドウ栽培における仕立て方や管理方法について学びます。



この日は、醸造用ブドウの枝が倒れないようにする誘引作業と、余分な芽を取り除く芽かき作業を行いました。毎年この時期の作業は雨に降られることが多く、昨年はカッパを着ての作業になりましたが、今年も途中で雨に降られ、30分程度で終了となりました。

令和4年6月

■6月4日（土）～5日（日）観光政策科学基礎実習を富士五湖で実施

地域社会システム学科の観光政策科学特別コースの1年生が、観光政策科学基礎実習の一環で、富士五湖地域の視察研修を実施しました。本実習は観光政策科学に関する学びのスタートとして、学生が二日間のコースを設計し、それに沿って現地を視察することで、観光を企画する側・運営する側に求められる視点を実践的に学習する物です。



■6月9日（木）ワイン科学研究センター新棟お披露目式

ワイン科学研究センター新棟のお披露目式が6月9日（木）に挙行されました。

新棟は、学生の増加やリカレント教育に対応できる教育・研究スペースの確保と、これまで別棟にあった技術者の教育や企業への技術的援助等を行うための「エクステンション部門」を集約し、効率的な分析業務や共同研究を行うことを目的に建設されました。

式では島田眞路学長の挨拶のあと、山梨県ワイン酒造組合の安蔵光広会長から祝辞をいただきました。その後、本学関係者・来賓によるテープカットが行われ、鈴木俊二ワイン科学研究センター長の案内のもと、参加者は新棟内を見学しました。

新棟は本棟に隣接し、地下1階、地上3階建てで、地下にはワインセラー、1階にはテイスティング用の「官能検査室」、2階にはワインの味や香りを分析する機器を備えた「機器分析室」が設置されています。



本棟の隣に建っています



来賓・学内関係者



ワインセラー



機器分析室

■6月10日（金）日本栄養食糧学会にて Topics 賞を受賞



地域食物科学科より医工農学総合教育部修士課程に進学した足立遥郁さんが、日本栄養食糧学会にて Topics 賞に選ばれました。

演題名は「胎生期のタンパク質制限は、離乳後のマウスの空腸において、IL1B、IL13 の発見を増大させ、MUC2 の発見を減少させる」で、妊娠期のタンパク質不足が、子供のアレルギー疾患リスクを増大させる可能性を示したものになります。

■6月15日（水）・16日（木）高度生殖補助技術センター開所式及びキックオフシンポジウム開催

山梨大学では、令和4年3月に山梨県と「不妊治療が受けやすい環境整備に関する連携協定」を締結しました。この協定を契機とし、生命環境学域に高度生殖補助技術センターが設置され、6月15日に開所式が、翌日にキックオフシンポジウムが開催されました。



開所式の様子

高度生殖補助技術センターは、医師の指導の下、体外受精や胚の培養など生殖補助医療を担う胚培養士の育成を行っていきます。

キックオフシンポジウムでは、県内で生殖医療に従事されている医師の笠井剛氏、胚培養士の飯窪郁江氏、並びに日本臨床エンブリオロジスト学会理事長などを歴任された胚培養士の沖津摂氏による講演を聴きました。



キックオフシンポジウム

令和4年7月

■7月1日（金）生命環境学部附属小曲農場にて農業実習

この日は、「生物資源実習」の一環で、生命環境学部附属小曲農場にて、農業体験をしました。

この実習は、文系、理系を問わず、生命環境学部一年生が全員受講する科目で、様々な体験学習を通して農作業の楽しさや難しさを学習します。



■7月15日（金）応用栄養学における調理実習

地域食物科学科の応用栄養学では調理実習も行います。この講義では、各ライフステージにおける必要な栄養について理解を深め、代謝性疾患（糖尿病、高血圧など）の発症との関連を理解することを目的としています。

この日は、食事摂取基準や身体活動量などを基に、各ライフステージにあった献立の考案、調理及び発表を行いました。



令和4年8月

■8月3日（水）4日（木）山梨県下高校生への公開授業開催

山梨県の高校生を対象とした公開授業「自然と社会の共生科学」（全8講座）を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、多数の高校生に参加いただきました。大学の講義に触れることで、将来への一助となれば幸いです。



■8月6日（土）3年ぶりにオープンキャンパス開催

3年ぶりに生命環境学部の対面型オープンキャンパスが開催されました。今年度は、事前申込制の上、午前・午後の2部制をとり、学科紹介、研究紹介、施設見学、模擬講義、大学生活紹介等を行いました。直接大学に来ていただくことにより、大学の施設、キャンパスの様子、先生方の雰囲気、先輩たちのキャンパスライフ等、体感していただく事ができました。

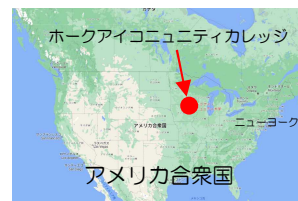


令和4年9月

■9月14日（水）ホークアイコミュニティーカレッジと交流プログラムを実施

環境科学科 片岡良太准教授による「国際青少年サイエンス交流事業さくらサイエンスプログラム」において、アメリカアイオワ州のホークアイコミュニティーカレッジより9名の方を招へいし、交流プログラムを実施しました。

期間は9月14日から19日までの6日間で、生命環境学部附属農場の見学・体験やドローン研修、富士山博物館見学、新旧日本文化体験など、様々なプログラムを実施しました。



■9月20日（火）地域食物科学科にて醸造用ブドウの収穫

山梨大学附属小曲農場では、醸造用ブドウの収穫が品種ごとに行われています。この日は、日本産の醸造用品種である「ベリーA」と「甲州」を収穫しました。



■9月21日（水）植物構造オプト・第4回若手の会で優秀発表賞を受賞

国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された植物構造オプト・第4回若手の会において、生命環境学部・環境科学科4年、石橋明里さんと、同学科3年、池谷汐織さんの2名が、優秀発表賞を受賞しました。

本賞は、植物の構造と機能およびそのサステナブル社会創生への応用に関して優れた発表を行った学生・若手研究者に贈られるもので、修士課程以下を対象としたセッションでは、選考対象の発表者28名の中から4名に本賞が贈られました。



■9月23日（金）ツーリズムEXPO ジャパン 2022 視察研修実施

地域社会システム学科・観光政策科学特別コースでは、東京ビッグサイトにて開催された国内最大の観光見本市「ツーリズムEXPO ジャパン」の視察を行いました。

国内外の地域や観光系企業が出店しているブースを見学したり、情報を収集したりしながら、観光産業の一端を体感しました。

令和4年10月

■10月3日（月）山梨大学学業成績優秀者表彰式

大村記念ホールにおいて、令和4年度山梨大学学業成績優秀者表彰式が行われました。山梨大学では、学業成績が特に優れ、かつ人物優秀であると認められた者を学業成績優秀者として表彰しています。

生命環境学部からは、生命工学科 名取希望さん、地域食物科学科 成嶋千鶴さん、環境科学科 藤村泰詩さん、地域社会システム学科 根津彩子さんの4名が学業成績優秀者として表彰されました。



■10月26日（水）中性脂肪学会 第5回学術集会で最優秀賞受賞

中性脂肪学会 第5回学術集会にて、本学大学院生命環境学専攻修士2年の萩原麻衣さんが、最優秀賞に選ばれました。

演題名は「自然糖尿病モデル NSY マウスにおける中鎖脂肪による糖尿病性腎症抑制効果の検証」で、糖尿病の3大合併症で最も予後が悪い腎症において中鎖脂肪摂取が糸球体硬化を中心とした病態を改善させる可能性を示した成果を発表しました。



■10月29日（土）「令和4年度山梨大学ワインセミナー」開催

フクラシア品川クリスタルスクエア（東京都港区）にて、ワイン科学研究センター主催「令和4年度山梨大学ワインセミナー」を開催しました。

これは本学が毎年開催しているもので、山梨県産業技術センターや山梨県ワイン酒造組合の専門家を講師にお招きし、ブドウ栽培やワイン産業の現状について分かりやすく解説していただき、講師のコメントを聞きながら実際にワインをテイastingできるイベントです。今回は3年ぶりの東京開催と言う事もあり、大いに盛り上がりました。

令和4年11月

■ 11月3日（木）生命環境学部学生とマンズワインとでコラボイベント開催

生命環境学部地域社会システム学科所属学生グループ「アワタス」が企画等に携わった、新酒解禁イベント「マンズワインフェスタ勝沼」が甲州市勝沼にて開催されました。

当日は、開催当日に解禁となった2022年の新酒や日本ワインコンクール2022で金賞を獲得したワインが提供されたほか、マンズワイン創立60周年記念企画として甲州市出身の染色作家 古屋絵菜さんのろうけつ染め展なども開かれました。



■ 11月4日（金）～6日（日）梨甲祭「Next Step：更なる高みへ」開催

今年度の第19回梨甲祭「Next Step：更なる高みへ」も、昨年同様、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を鑑み、本学学生・教職員のみでの参加ととなりました。

3年ぶりに開催となった仮装パレードを皮切りに、様々な出し物で盛り上がりました。



■ 11月8日（火）令和4年秋の全国火災予防運動にともなう総合消防訓練実施

甲府キャンパスにおいて、本学と甲府地区広域行政事務組合消防本部とが合同で総合消防訓練を実施しました。訓練では、キャンパスの建物内（実験室）で火災が発生したことを想定し、火災報知器の確認や放水訓練を行ったほか、本学が所有するドローンを飛行させ、屋上に残り残された要救護者の発見、50メートル級のはしご車を使用した救助訓練を行いました。



はしご車を使った訓練



屋上に要救護者を発見！




屋上での救助の様子



放水訓練

S

■ 11月12日（土）地域食物科学科にてオープンキャンパス開催

地域食物科学科では12日(土)にオープンキャンパスを開催しました。
午前の部、午後の部の2回、学科紹介・施設見学・ミニ体験・保護者向け説明会等を行いました。



学部長による学科紹介



学生によるパネル紹介



ワイン研見学



ミニ体験



研究室見学

■11月26日(土)「日本ブドウ・ワイン学会」開催

甲府キャンパスにおいて、日本ブドウ・ワイン学会が開催され、オンライン約290名、対面約120名が参加しました。選考委員会の厳正な審査の結果、本学から以下の5名が賞を受賞しました。

- ◆論文賞 鈴木俊二 教授、榎真一 助教
- ◆功労賞 奥田徹 教授
- ◆大会発表賞 平田佳佑さん(ワイン科学コース2年)
芹澤 樹さん(ワイン科学コース2年)



鈴木教授による発表



奥田教授による挨拶



平田さん、芹澤さん

■11月29日(火)「男女共同参画学術研究奨励賞」表彰式

男女共同参画学術研究奨励賞とは、本学に所属する、優れた研究成果を挙げた女性研究者に贈られるものです。生命環境学域からは、大学院修士課程生命環境学専攻バイオサイエンスコース1年の足立遥郁さん(指導教員:望月 和樹教授)が表彰されました。



令和4年12月

■12月9日(金)、16日(金)ゲスト講師による観光の最前線を学ぶ授業を実施

観光政策科学特別コースの必修科目の1つ「観光経営論Ⅱ」(担当:田中敦教授、岡野千帆特任助教)では、観光の最前線で活躍されている実務家の方を授業にお招きし特別講義を行っていただいています。12月は、株式会社星野リゾート、日本航空株式会社より講師を招き、貴重なお話を伺いました。



株式会社星野リゾート



日本航空株式会社

■12月19日(月)1年生が仕込んだ甲州味噌の樽開け式

4月に1年生のオリエンテーションで仕込んだ味噌の仕分け作業を行いました。樽の蓋をあけると、大豆が中までしっかりと発酵して茶色い甲州味噌へと変わっていました。冬休みに帰省する学生は、実家で手作り味噌を楽しむ予定とのことです。



令和5年1月

■1月12日(木)島弘幸教授らの学術論文が日本物理学会国際学術誌のホットトピックスに選出

環境科学科の島弘幸教授らの研究グループによる「メロンの網目模様」に関する研究が高く評価され、日本物理学会のホットトピックス(JPS Hot Topics)に選ばれました。これは、同会が刊行する3つの国際学術誌に掲載された論文の中から、特に注目すべき優れた論文を選出し、専門外の方々にもわかりやすい解説記事をJPS Hot Topicsとして国際的に公開しているものです。



令和5年2月

■2月3日（金）令和4年度学生表彰 表彰式

本学では優秀な成績を収めた学生及びその行為が社会的に高く評価される等、学生の模範となりうると認められた学生に対し、学生表彰を行っています。

生命環境学部からは、環境科学科の池谷汐織さん、石橋明里さん、生命環境学専攻バイオサイエンスコースの萩原麻衣さんが学術研究活動として表彰されました。

令和5年3月

■3月8日（水）定年退職教員離任式

工学域・生命環境学域 定年退職教員離任式が開催され、生命環境学部からは、3月31日に定年退職される山下 裕之 准教授が出席されました。山下准教授は、生命環境学部設立以来、果樹園芸学や育種分野において、永きにわたり教育、研究及び大学の管理運営に尽力され、本学部の発展の為に多大な貢献をされました。



4月からは、引き続き社会人養成に向けた「ワイン・フロンティアリーダー養成プログラム」にて非常勤講師としてご講演いただく予定です。

■3月10日（金）3種類の新作「山梨大学ワイン」が誕生

ワイン科学研究センターの研究成果・技術が注ぎ込まれた3種類の新作「山梨大学ワイン」が誕生しました。

新作ワインは、「メルロ樽熟成（赤ワイン・フルボディ）」「甲州かもし（オレンジワイン・辛口）」「甲州クリオエクストラクション（白ワイン・極甘口）」で、岩崎醸造株式会社と共同で醸造しました。



新作3種を含めた7種の大学ワイン

■3月16日（木）観光政策科学実習として観光資源に関する視察研修を実施

観光政策科学特別コースでは、観光政策科学実習の一環として、都市における訪日外国人旅行者向け観光資源に関する視察研修を実施しました。豊洲市場、チームラボネッツ、迎賓館赤坂離宮の3か所を見学し、大学周辺では実感できない訪日観光の新たな兆しを体験することができました。

■3月23日（木）山梨大学卒業式・修了式

YCC県民文化ホールにおいて、令和4年度山梨大学卒業式・修了式を挙行し、学部生840名、専攻科生10名、大学院生285名の計1,135名が卒業・修了しました。

島田眞路学長は「本日修了・卒業される皆さんには、今後、家庭、団体、県や国家など実社会の様々な領域に於いて周囲の要請に応えられるよう、学習努力を継続して頂きたいと思います。」と式辞を送りました。また、生命環境学部3年の駿河萌さんが「山梨大学で学び、培ってきた自分自身の力を信じ、諦めない心で未来を切り開いていってください。」と在校生を代表し送辞を送りました。



卒業・修了生のみなさん、おめでとうございます。

<https://www.les.yamanashi.ac.jp/>

